

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-1	事業名	札幌スタイル推進事業
担当	経済局産業振興部ものづくり支援担当課 山下 211-2362		
全体計画			
事業内容	市内中小企業が、札幌の高い都市イメージとデザインを活用し、異分野連携等をおとして商品開発力の向上と販売力の強化を図るとともに、官民連携のもと、次世代のライフスタイルを提案する「札幌スタイル」という新しい価値の創造に取り組み、国内外の市場や生活者に対し付加価値の高い商品やサービスを提供することで地域経済の活性化につなげる。 「札幌スタイル」の構想 ・トータルプロデュース会議の開催 「札幌スタイル」の発見・創造 ・認証制度の実施・プロポーザル型デザインコンペの開催等 「札幌スタイル」の可視化(具現化) ・コンペ入賞作品製品化・デザイナーと企業のマッチング支援・産学官連携プロジェクトの推進等 「札幌スタイル」の価値伝達(販路拡大支援) ・首都圏の商談会への出展支援・ショーケース、札幌スタイルショップ、Web等を活用した販路拡大支援・セミナー開催等		<年度別の事業内容> 19年度 ・デザイン会議の開催・札幌スタイル情報発信事業 ・産学官連携推進事業(コンペ製品化サポート等) 20年度 ・(仮称)札幌スタイルプロデュース会議の開催 ・認証事業・産学官連携推進事業 ・札幌スタイル・デザインコンペティション開催 21年度 ・(仮称)札幌スタイルプロデュース会議の開催 ・認証事業・札幌スタイル発信事業 ・産学官連携推進事業(コンペ製品化サポート等) 22年度 ・(仮称)札幌スタイルプロデュース会議の開催 ・認証事業・産学官連携推進事業 ・札幌スタイル・デザインコンペティション開催
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌スタイル・デザイン会議の開催</li> <li>産学官で構成する有識者会議により、これまでの事業成果と課題を検討。今後の中長期的な方向性をとりまとめた「札幌スタイル推進戦略」の提言を受けた。</li> <li>・デザインコンペティション入賞作品製品化支援事業</li> <li>デザインコンペティション2006入賞作品の製品化を支援した。</li> <li>・札幌スタイル発信事業</li> <li>デザインギャラリー(丸井今井南館)及びショーケース(地下鉄大通駅コンコース)の運営や、Webを活用して、札幌スタイルの情報を発信し、認証商品の販路拡大を支援したほか、各種セミナーを開催し札幌スタイルの認知度の向上に取り組んだ。</li> <li>・デザイン開発プロジェクト</li> <li>産学官で構成するデザインを活用した商品開発プロジェクトを運営。</li> <li>・札幌スタイル認証事業</li> <li>道内外における展示会、商談会に出展し、認証商品の販路拡大を支援した。</li> <li>・デザイン・インターンシップ事業</li> <li>デザイン系の人材育成と地元定着を目的としたインターンシップを開催した。</li> <li>・ギャラリー移転準備</li> <li>デザインギャラリーの移転に向け、丸井今井南館からの撤収と移転後ショップの設計等開設準備を行った。</li> <li>・ユニバーサルデザイン推進支援事業</li> <li>ユニバーサルデザインの普及啓発と福祉用具の販路拡大を目的とした「らくらくフェア」を開催した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌スタイルのコンセプト再構築、ブランドイメージの一貫性確保、戦略的プロモーション推進のため、「札幌スタイル推進会議」を設置した。</li> <li>・同会議内に「ブランドマネジメント委員会」、「認証審査部会」、「認証製品販路拡大支援部会」を設け、地域資源の分析、コンセプト具現化、認証基準及び審査方法の見直しや販路拡大支援に着手した。</li> <li>・新たな認証基準のもと、新規10製品、更新50製品を認証した。</li> <li>・「デザインコンペティション2008」を実施し、入賞作品として20作品を選定した。平成21年度に市内企業とのマッチング事業等を実施し、製品化を目指す。</li> <li>・「デザイン開発プロジェクト」を実施し、審査により3件を採択した。平成21年度の商品化に向けて取組みを開始した。</li> <li>・Rタワーに「札幌スタイルショップ」を開設した。</li> <li>・「札幌スタイル・ショーケース」で、認証製品等の企画展を9回開催した。</li> <li>・市民、企業等で構成する「札幌スタイル・ホームページ運営委員会」を月1回開催した。</li> <li>・インターナショナル・ギフト・ショーへの出展、百貨店・ホテルでの展示販売を行った。</li> <li>・ユニバーサルデザインの普及啓発、機能性とデザイン性を兼ね備えた福祉製品の販路拡大や需要喚起のため、「らくらくフェア2008」の開催を支援。</li> <li>・北海道で生まれたデザインの魅力と可能性を内外に発信することによる、産業や地域の活性化を目的とした「札幌デザインウィーク2008」の開催を支援。</li> </ul>
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)
規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>【札幌スタイル推進会議等の開催】</li> <li>・札幌スタイルのブランドコントロールなど、基盤整備の検討継続。</li> <li>【札幌スタイルのPR及び認証製品の販路拡大事業】</li> <li>・「札幌スタイルショップ」、「札幌スタイル・ショーケース」の管理運営。</li> <li>・新たな札幌スタイル製品の発掘と認証、首都圏での大型商談会への出展。</li> <li>・認証製品販路拡大支援部会を通じた販路拡大支援</li> <li>・札幌スタイルPRカタログ等の製作</li> <li>・「札幌スタイル・ホームページ運営委員会」を活用した魅力的な情報発信。</li> </ul>		
件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>【デザインコンペティション製品化支援事業】</li> <li>・2008入賞作品に対する担い手企業の調査発掘、マッチング事業等の実施。</li> <li>【デザイン開発プロジェクト】</li> <li>・商品化に向けた取り組みの継続。</li> </ul>		
等			

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-3-1			事業名	札幌スタイル推進事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
認証製品数(累計)	56件	56件	95件	100件	100件	100件	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 札幌スタイルの事業PR等を目的に、平成19年5月より札幌スタイルに関わる企業関係者、デザイナー、市民、NPO等が参加する札幌スタイルホームページ運営委員会を実施している。行政のみではなく、札幌スタイルに関わる様々な当事者の目線を組み込んだ情報の発信に努めている。結果として、認知度向上のみにとどまらず、同運営委員会をきっかけとした企業、行政機関、消費者団体、NPO等による商品開発やイベント実施等多数の連携が実現している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 本事業の実施により、札幌スタイル認証製品の販路拡大等が図られ、売上げ増加に貢献している。 [人材協力] 本事業の実施により、必要に応じたデザイナー、製造者、販売者のマッチングを行い、課題解決に寄与している。 [情報協力] 「札幌スタイル・ホームページ運営委員会」をはじめ、各委員会や部会等の意見・情報をフィードバックし、共有している。 [その他の協力] 異業種間の連携を促進し、新たなネットワーク構築に取り組んでいる。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 札幌スタイルのイメージを伝える冊子の配布や、ホームページをとおしてイベント情報を広く公開する等、市民、企業の事業参加を促している。また、市民が作るウェブシティさっぽろとの連動を意識したホームページを作成し、市民参加型の情報発信に努めている。</p>							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
<p>当該事業の実施により、異業種企業・人材間の連携によって、札幌の都市イメージやデザインを活用した製品が道内外で流通し、売上が増加するなどの成功事例が複数あり、外需の獲得と道内取引の拡大や域内消費の拡充に向けた取り組みとなっている。</p> <p>&lt;具体例&gt; 受注生産主体であった企業が、当該事業に参画したことで販路が拡大され、新規取引先の獲得や、企業ステータスの向上に成功 札幌スタイルを通じて異業種と連携し、企業としての技術や企画の幅を広げた 地元で顧客がいなかったが、札幌スタイルを通じて札幌市民の顧客を獲得した等</p>				<p>札幌スタイル認証制度において、認証されることに対する価値意識を喚起するための、対象項目や審査基準の更なる明確化、より厳正な審査体制の構築に向けた検討の継続。 認証製品の販売促進において、統一ロゴである「札幌スタイルロゴマーク」がより有効に機能するための、使用ルールの構築やその活用に向けた検討。 認証製品の販路拡大において、ネットワークを構築している各企業が、よりスピーディで統制された対応を可能とするための、販売ガイドラインの構築やその活用に向けた検討。 等の各種基盤整備を進めることで、「札幌スタイル」のブランドイメージの一貫性、明瞭性、統合性の確立・保全を強化し、当該事業をより効果的に推進する必要がある。</p>			
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>「札幌スタイル推進会議」等において、各種基盤整備の検討を継続する。 行政主導の「札幌スタイル」に関して、将来的には民間主導の推進体制に移行させることを前提とし、長期的な視点に立って方策を検討していく。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-3-1			事業名	札幌スタイル推進事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	26,100	23,900	19,000	24,000	93,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	26,100	23,900	19,000	24,000	93,000			
予算	事業費	26,100	23,490	21,850	-	71,440				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0			
		市の債	0	0	0		0			
		その他の	0	0	0		0			
		一般財源	26,100	23,490	21,850		71,440			
実績	事業費	33,114	26,763	-	-	59,877				
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0			
		市の債	0	0			0			
		その他の	0	0			0			
		一般財源	33,114	26,763			59,877			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					87.9%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度] 札幌スタイル・デザインギャラリーについて、情報発信機能を高めるため、より集客力の高いJRタワーへ移転することとして、設置していた丸井今井南館におけるギャラリーの撤収及び新拠点としての札幌スタイルショップ開設に向けた準備を行なったことにより、計画していた事業費との差異が生じた。										
[20年度]										
[21年度]										